

# 小金井市下水道使用料審議会

## 第5回審議会資料

平成29年4月24日

東京都小金井市

## 目 次

1.	小金井市下水道使用料の減免制度について.....	1
2.	財政シミュレーション.....	5
2.1.	平成 35 年度から改定を行う場合.....	5
2.2.	ケース 2-1 水量区分は現在のままとし、基本使用料及び従量使用料単価を一律改定.....	7
2.3.	ケース 2-2 基本水量を 10m <sup>3</sup> /月から 8m <sup>3</sup> /月に切り下げ、基本使用料は据え置き、9 m <sup>3</sup> /月以上から従量使用料制とし、従量使用料単価を一律改定.....	10
2.4.	各ケースの比較.....	13
2.5.	周辺自治体の使用料体系との比較.....	19
3.	審議会スケジュール.....	22
3.1.	審議会スケジュール.....	22

## 1. 小金井市下水道使用料の減免制度について

小金井市では、家庭の負担等を少しでも軽減するため、下水道使用料の減免制度を設けています。

## 下水道使用料の減免制度

下記の方は、申請により、減免措置を受けることができます。

No	下水道使用料の減免を受けられる方	減免内容等
1	生活保護法により、生活扶助を受けている方。	1月につき10立方メートルに相当する金額を減免します。
2	児童扶養手当法により、児童扶養手当を受けている方。	
3	特別児童扶養手当法により、特別児童扶養手当を受けている方。	
4	旧母子福祉年金、旧準母子福祉年金を受けている方。	
5	生活保護法により、教育扶助、住宅扶助及び医療扶助を受けている方。	
6	身体障害者手帳をお持ちの方で、前年度の市民税所得割が非課税であり、水道メーターを当該世帯単独で使用している方。	
7	地方税法第292条第1項第11号に定める寡婦で、前年度市民税所得割が非課税であり、水道メーターを当該世帯単独で使用している方。	
8	愛の手帳をお持ちの方が同居している世帯で、世帯主の前年度市民税所得割が非課税であり、水道メーターを当該世帯単独で使用している方。	
9	65歳以上の者のみの世帯で、前年度の市民税所得割が非課税であり、水道メーターを当該世帯単独で使用している世帯。65歳未満の同居者があっても、同居者全員の市民税所得割が非課税のときは65歳以上の者のみの世帯とみなします。	
10	医療法に定める病院。(国又は地方公共団体の経営するものを除く。)	下水道使用料の20%を減免します。
11	社会福祉施設(国又は地方公共団体の経営するもの並びに単なる相談、連絡及び助成事業のみを行う施設を除く。)及びそれに準ずる施設。	
12	めっき業を専業として営む方。	1月につき200立方メートルを超える使用料の20%を減免。
13	<p style="text-align: center;">1 野菜小売業 2 魚介類小売業 3 日本そば店 4 中華そば店 5 パン製造小売業 6 めん製造小売業 7 豆腐製造小売業 8 かまぼこ水産加工業 9 民生食堂、大衆食堂 10 食肉小売業 11 大衆すし店 12 あん類製造業 13 ソース製造業 14 クリーニング業 15 こんにやく製造業 16 染色整理業 17 理・美容業</p>	<p>1月につき40立方メートルを超え200立方メートル以下の排出量について、1立方メートルにつき10円を減免します。</p> <p>ただし、営業のためだけの水量を計測するための水道メーターが設置されていることが必要です。(メーターが生活用水と一緒にしている場合は対象になりません。)</p>

○ No.1～5の申請先は東京都水道局小平サービスステーション、No.6～13の申請先は環境部下水道課業務設備係(第2庁舎4階)になります。

○ 減免については毎年審査をいたします。審査の結果、減免に該当しない場合もあります。

○ 減免の種類によっては、申請のときに、ご提示いただくものや提出していただくものがありますので、下記までお問合せください。

【お問合せ先】東京都水道局多摩お客様センター 電話0570(091)101(ナビダイヤル)  
 小金井市 環境部 下水道課 業務設備係 (第2庁舎4階) 電話042(387)9828(直通)

表 2.1-1 各市町下水道料金減免制度等一覧表

	生活扶助	児童扶養手当	特別児童扶養手当	遺族基礎年金 (旧母子福祉年金)	公衆浴場		社会福祉施設	生活保護 教育・住宅・医療・介護	用水型 皮革関連	めっき業	染色整理業	生活関連種	高齢者世帯 ・高齢福祉 年金受給者	医療施設	中国残留邦人等 に対する支援給付  (生活・住宅・医療・介護)	障害者	東日本大震災に よる避難者	その他適用	情報提供許諾の範囲
					料金表	減免制度													
都水道局	◎	◎	◎	×	あり	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	×	◎	公衆用栓	特になし
都下水道局	○	○	○	×	あり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		特になし
八王子市	○	○	○	×	あり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公衆用栓	市役所内
立川市	○	○	○	×	あり	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○		特になし
三鷹市	○	○	○	×	あり	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○		下水担当部署
青梅市	○	○	○	×	あり	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	公衆用栓	市役所内
府中市	○	○	○	○	あり	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	安保6系関係	市役所内
町田市	○	○	○	○	あり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	公衆用栓等	下水担当部署
小金井市	○	○	○	○	あり	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	愛の手帳交付者	特になし
小平市	○	○	○	○	あり	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○		特になし
東村山市	○	○	○	○	あり	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○		市役所内
国分寺市	○	○	○	×	あり	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○		特になし
国立市	○	○	○	×	あり	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○		特になし
西東京市	○	○	○	×	あり	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○		下水担当部署
日野市	○	○	○	○	あり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		市役所内
清瀬市	○	○	○	×	あり	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○		市役所内
東久留米市	○	○	○	○	あり	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○		下水担当部署
狛江市	○	○	○	○	あり	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○		特になし
武蔵村山市	○	○	○	×	あり	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○		市役所内
東大和市	○	○	○	○	あり	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○		下水担当部署
あきる野市	○	○	○	○	なし	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○		市役所内
調布市	○	○	○	○	あり	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○		特になし
福生市	○	○	○	○	あり	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○		下水担当部署
瑞穂町	○	○	○	○	なし	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○		特になし
日の出町	○	○	○	○	なし	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○		特になし
稲城市	○	○	○	○	あり	△	△	○	△	△	△	△	△	△	○	○	○		市役所内
多摩市	○	○	○	×	あり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		特になし
奥多摩町	○	○	○	○	なし	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	町長が認めたもの	特になし

「○」減免適用あり 「△」場合によって減免の適用あり

「×」減免適用なし

「◎」は水道料金を、「○」は下水道料金を表している。

表 2.1-2 減免対象別集計表

[平成27年度使用分(水道水)平成28年度減免還付実績]

(税込)

20 % 減 免	申請者	該当件数 (施設)	使用水量 (m <sup>3</sup> )	減免金額 (円)
社 会 福 祉 施 設	1 施設	1	731	8,693
<b>20% 減免 小 計 (A)</b>	1 施設	1	731	8,693
<b>基本料金 減 免</b>	申 請 者	該 当 者 数 (人)	使用水量 (m <sup>3</sup> )	減免金額 (円)
身 体 障 害 者	150 人	145	19,625	598,563
65歳以上の者のみの世帯	113 人	113	12,784	497,070
寡 婦	4 人	4	830	18,144
都愛の手帳所持者のいる世帯	18 人	17	45,360	72,387
<b>基本料金 減免 小 計 (B)</b>	285 人	279	78,599	1,186,164

営 業 者 (1ヶ月当たり40m <sup>3</sup> を超え200m <sup>3</sup> 以下の排出 量について、1m <sup>3</sup> につき10円を減免)	申請者	該当件数	使用水量 (m <sup>3</sup> )	減免金額 (円)
魚 介 類 小 売 業 者	1 人	1	449	44
中 華 そ ば 店	0 人	0	0	0
豆 腐 製 造 小 売 業 者	2 人	2	1,463	5,681
ク リ ー ニ ン グ 業 者	0 人	0	0	0
理 ・ 美 容 業 者	18 人	4	2,042	2,906
<b>小 計 (C)</b>	21 人	7	3,954	8,631

<b>合 計 (A) + (B) + (C)</b>	307	287	83,284	1,203,488
----------------------------	-----	-----	--------	-----------

## 2. 財政シミュレーション

### 2.1. 平成 35 年度から改定を行う場合

現行の使用料体系を継続した場合、平成 36 年度から下水道基金の取り崩しが見込まれることから、前年の平成 35 年度から料金改定を実施した場合の財政シミュレーションを検討しました。

今回は、下記の 2 ケースの検討結果を示します。

ケース 2-1 水量区分は現行のままとし、基本使用料及び従量使用料単価を一律改定

ケース 2-2 基本水量を 10m<sup>3</sup>/月から 8m<sup>3</sup>/月に切り下げ、基本使用料は据え置き、9m<sup>3</sup>/月以上から従量使用料制とし、従量使用料単価を一律改定

### その他の改定条件

- ① 基金残高の推移を平滑化するため、平成 35 年度の改定を 1 回目の改定として、5 年毎に使用料見直しを実施する。  
※「下水道使用料算定の基本的考え方 2016 年度版 日本下水道協会」では、使用料算定期間は、安定性の保持、予測の確実性の観点から 3～5 年程度とされています。
- ② 2 回目以降の改定率は、資本費、維持管理費に充当する繰入金（一般会計繰入金（その他））と同程度を確保する方針とし、基金残高が概ね 2～4 億円程度で推移するような改定率とする。
- ③ 改定率は、改定前年度の使用料に対する改定率とする。

平成 35 年度の改定後の各ケースの使用料体系は以下のとおりとなります。

表 2.1-1 改定ケース 2 の使用料体系

使用料改定：平成35年度

項目		【参考】現行体系 ※基本水量は 10m3/月まで	ケース2-1 (一律値上げ型) 従量使用料単価4%増	ケース2-2 (基本水量切り下げ)	
基本使用料 (基本水量8 又は 10m3/月まで)		350	364	350	
従量 使用料  (円/m3/月) 税抜き	9～10			70	
	11～20	70	73	70	
	21～50	105	109	105	
	51～100	135	140	135	
	101～200	170	177	170	
	201～500	210	218	210	
	501～1,000	250	260	250	
	1,001以上	290	302	290	
水量別 使用料 (円/月) 税込(8%)	8 m <sup>3</sup> 使用時	使用料	378		378
		増減額			0
		増加率			0.00%
	10 m <sup>3</sup> 使用時	使用料	378	393	529
		増減額		15	151
		増加率		3.97%	39.95%
	20 m <sup>3</sup> 使用時	使用料	1,134	1,181	1,285
		増減額		47	151
		増加率		4.14%	13.32%
	50 m <sup>3</sup> 使用時	使用料	4,536	4,713	4,687
		増減額		177	151
		増加率		3.90%	3.33%
	100 m <sup>3</sup> 使用時	使用料	11,826	12,273	11,977
		増減額		447	151
		増加率		3.78%	1.28%
	200 m <sup>3</sup> 使用時	使用料	30,186	31,389	30,337
		増減額		1,203	151
		増加率		3.99%	0.50%
	500 m <sup>3</sup> 使用時	使用料	98,226	102,021	98,377
		増減額		3,795	151
		増加率		3.86%	0.15%
	1,000 m <sup>3</sup> 使用時	使用料	233,226	242,421	233,377
		増減額		9,195	151
		増加率		3.94%	0.06%
5,000 m <sup>3</sup> 使用時	使用料	1,486,026	1,547,061	1,486,177	
	増減額		61,035	151	
	増加率		4.11%	0.01%	
10,000 m <sup>3</sup> 使用時	使用料	3,052,026	3,177,861	3,052,177	
	増減額		125,835	151	
	増加率		4.12%	0.00%	



## 2.2. ケース 2-1 水量区分は現在のままとし、基本使用料及び従量使用料単価を一律改定

ケース 2-1 は、基本使用料も含め水量区分ごとの料金単価を一定の比率で値上げする場合の使用料体系です。

今回の検討では、平成 35 年度以降に 4～5%の改定を実施した場合の長期財政シミュレーションを検討しました。

**表 2.2-1 使用料改定年度と改定率（ケース 2-1）**

年度	改定率
平成 35 年度	4%
平成 40 年度	4%
平成 45 年度	5%
平成 50 年度	5%
平成 55 年度	5%

■小金井市下水道事業 財政シミュレーション

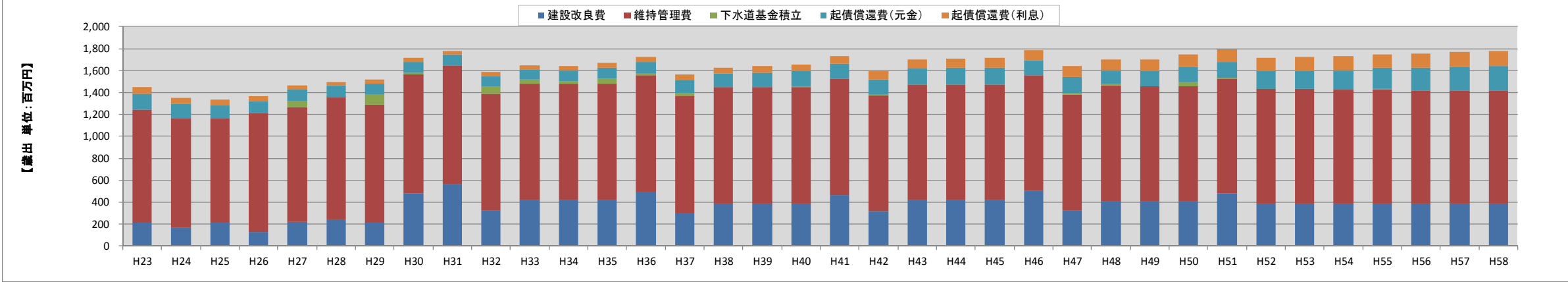
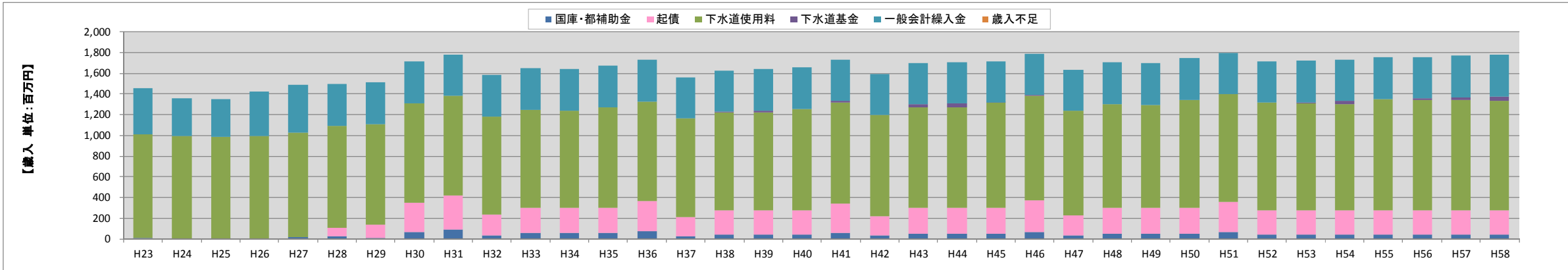
(改定ケース2-1)

【歳入】

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計	
国庫・都補助金	10	0	3	0	18	26	10	68	86	37	55	55	55	71	26	44	44	44	60	30	50	50	50	66	31	48	48	48	63	44	44	44	44	44	44	44	1,447	
起債	0	0	0	0	0	79	130	283	337	196	248	248	248	296	183	235	235	235	283	192	251	251	251	303	197	250	250	250	292	235	235	235	235	235	235	235	7,289	
下水道使用料	999	994	988	996	1,010	986	969	963	958	952	945	938	969	960	952	943	941	978	975	974	971	969	1,015	1,012	1,009	1,005	1,000	1,047	1,042	1,037	1,033	1,027	1,072	1,066	1,061	1,054	29,837	
下水道基金																7	19	0	16	0	27	38	1	7	0	0	0	0	0	9	26	0	10	28	45	233		
一般会計繰入金	446	366	363	427	462	408	406	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	12,006	
建設財源							76	126	144	97	113	113	113	129	93	110	110	110	125	95	116	116	116	132	98	114	114	114	129	111	111	111	111	111	111	111	3,380	
その他							330	274	256	303	287	287	287	271	307	290	290	290	275	305	284	284	284	268	302	286	286	286	271	289	289	289	289	289	289	289	8,626	
歳入不足							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,455	1,360	1,353	1,422	1,489	1,499	1,515	1,714	1,781	1,585	1,648	1,641	1,672	1,727	1,561	1,629	1,639	1,657	1,734	1,596	1,699	1,708	1,717	1,788	1,637	1,703	1,698	1,745	1,797	1,716	1,721	1,732	1,751	1,755	1,768	1,778	50,812	

【歳出】

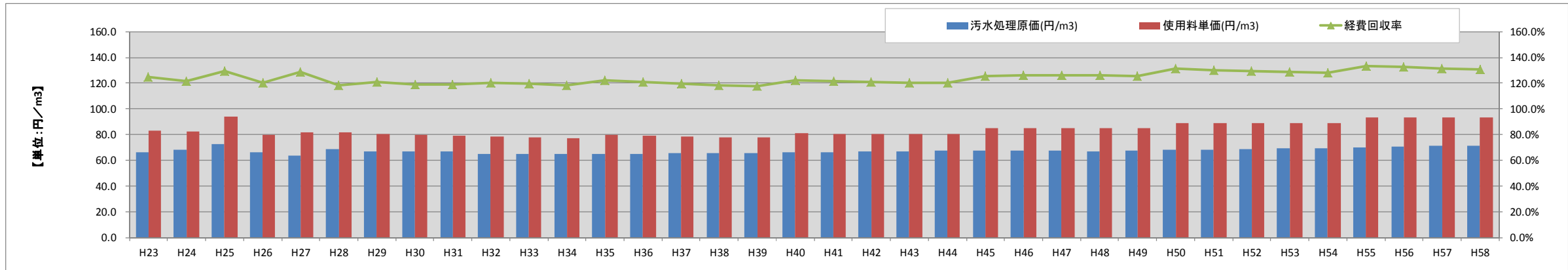
項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計
建設改良費	211	166	216	132	218	246	216	477	567	330	416	416	416	496	302	389	389	389	468	317	417	417	417	501	326	412	412	412	484	390	390	390	390	390	390	390	12,116
維持管理費	1,036	1,004	952	1,083	1,046	1,113	1,075	1,085	1,082	1,062	1,063	1,063	1,064	1,064	1,063	1,062	1,061	1,060	1,059	1,058	1,057	1,055	1,054	1,053	1,051	1,049	1,047	1,045	1,043	1,041	1,038	1,036	1,033	1,031	1,028	31,645	
下水道基金積立				56	0	91	19	3	62	37	23	48	14	28	0	9	0	9	0	4	0	0	0	0	19	15	0	34	1	5	0	7	0	0	0	419	
起債償還費	203	178	165	152	148	139	133	133	129	131	132	139	144	153	168	177	188	198	206	216	224	234	245	233	239	225	237	252	267	278	290	304	318	332	347	360	6,632
元金	143	124	115	107	107	102	99	100	97	96	95	99	99	106	116	121	128	132	137	141	145	151	157	141	141	125	132	142	152	158	167	178	190	201	214	225	4,185
利息	60	54	49	45	41	38	34	33	32	35	37	40	45	47	52	56	60	66	69	75	79	83	88	92	98	100	105	110	115	120	123	126	128	131	133	135	2,447
合計	1,449	1,348	1,332	1,367	1,468	1,499	1,515	1,714	1,781	1,585	1,648	1,641	1,672	1,727	1,561	1,629	1,639	1,657	1,734	1,596	1,699	1,708	1,717	1,788	1,637	1,703	1,698	1,745	1,797	1,716	1,721	1,732	1,751	1,755	1,768	1,778	50,812



■汚水処理費の推移

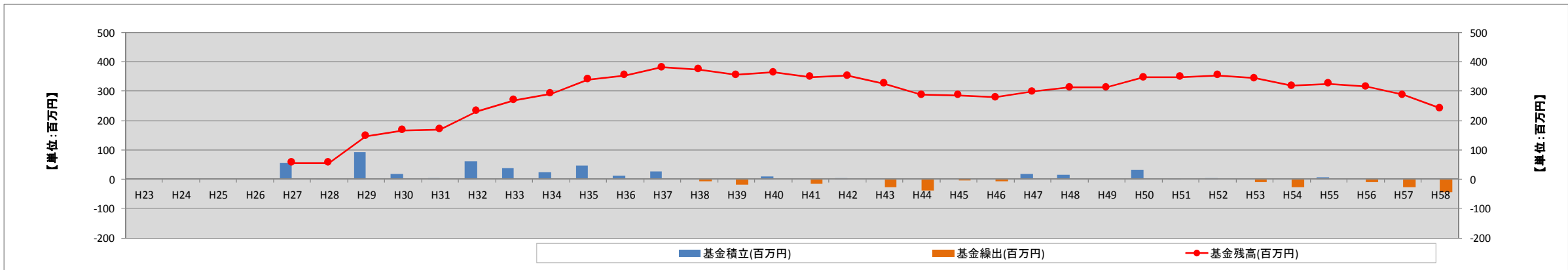
(改定ケース2-1)

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計
有収水量(千m3)	12,067	12,043	10,518	12,446	12,365	12,038	12,064	12,089	12,115	12,141	12,154	12,168	12,181	12,178	12,174	12,154	12,134	12,114	12,094	12,074	12,039	12,005	11,970	11,936	11,902	11,851	11,801	11,751	11,701	11,651	11,590	11,529	11,468	11,407	11,346	11,277	357,058
維持管理費	1,036	1,004	952	1,083	1,046	1,113	1,075	1,085	1,082	1,062	1,063	1,063	1,064	1,064	1,063	1,063	1,062	1,061	1,060	1,059	1,058	1,057	1,055	1,054	1,053	1,051	1,049	1,047	1,045	1,043	1,041	1,038	1,036	1,033	1,031	1,028	31,645
汚水分	737	764	713	782	743	791	764	771	769	755	756	756	756	756	756	756	755	754	753	752	751	750	749	748	747	746	744	743	741	740	738	736	734	733	731	22,493	
雨水分・その他	299	241	239	301	304	322	311	314	313	307	307	307	308	308	307	307	307	307	306	306	306	305	305	305	304	303	303	302	302	301	300	300	299	298	297	9,152	
起債償還費	203	178	165	152	148	139	133	133	129	131	132	139	144	153	168	177	188	198	206	216	224	234	245	233	239	225	237	252	267	278	290	304	318	332	347	360	6,632
汚水分	64	54	49	44	42	40	38	38	37	35	35	35	35	37	40	42	43	47	50	51	54	55	57	53	53	48	50	54	57	59	61	65	67	70	74	77	1,517
雨水分・その他	139	124	115	108	105	99	95	95	92	96	97	104	109	116	128	135	145	151	156	165	170	179	188	180	186	177	187	198	210	219	229	239	251	262	273	283	5,115
使用料収入	999	994	988	996	1,010	986	969	963	958	952	945	938	969	960	952	943	941	978	975	974	971	969	1,015	1,012	1,009	1,005	1,000	1,047	1,042	1,037	1,033	1,027	1,072	1,066	1,061	1,054	29,837
汚水処理原価(円/m3)	66.4	67.9	72.4	66.4	63.5	69.0	66.5	66.9	66.5	65.1	65.1	65.0	64.9	65.1	65.4	65.7	65.8	66.1	66.4	66.6	66.9	67.1	67.4	67.2	67.3	67.1	67.5	67.9	68.4	68.7	69.1	69.7	70.0	70.5	71.1	71.7	
維持管理分	61.1	63.4	67.8	62.8	60.1	65.7	63.3	63.8	63.5	62.2	62.2	62.1	62.1	62.1	62.1	62.2	62.2	62.2	62.3	62.6	62.6	62.7	62.8	62.8	63.0	63.2	63.3	63.5	63.6	63.8	64.0	64.2	64.3	64.6	64.8		
資本費分	5.3	4.5	4.7	3.5	3.4	3.3	3.1	3.1	3.1	2.9	2.9	2.9	2.9	3.0	3.3	3.5	3.5	3.9	4.1	4.2	4.5	4.6	4.8	4.4	4.5	4.1	4.2	4.6	4.9	5.1	5.3	5.6	5.8	6.1	6.5	6.8	
使用料単価(円/m3)	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	79.6	78.8	78.2	77.6	77.6	80.7	80.6	80.7	80.7	80.7	84.8	84.8	84.8	84.8	84.7	89.1	89.1	89.0	89.1	89.1	93.5	93.5	93.5	93.5	
経費回収率	124.7%	121.5%	129.6%	120.5%	128.6%	118.6%	120.8%	119.0%	118.9%	120.5%	119.5%	118.6%	122.5%	121.1%	119.6%	118.2%	117.9%	122.1%	121.4%	121.1%	120.5%	120.2%	125.8%	126.2%	126.0%	126.4%	125.6%	131.2%	130.3%	129.6%	129.0%	127.9%	133.5%	132.6%	131.5%	130.4%	



■基金残高の推移

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計
基金残高(百万円)					56	56	147	166	169	231	268	291	339	353	381	374	355	364	348	352	325	287	286	279	298	313	313	347	348	353	344	318	325	315	287	242	
基金積立(百万円)					56	0	91	19	3	62	37	23	48	14	28	0	0	9	0	4	0	0	0	0	19	15	0	34	1	5	0	0	7	0	0	0	419
基金繰出(百万円)					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	19	0	16	0	27	38	1	7	0	0	0	0	0	9	26	0	10	28	45	233	



2.3. ケース 2-2 基本水量を 10m<sup>3</sup>/月から 8m<sup>3</sup>/月に切り下げ、基本使用料は据え置き、9m<sup>3</sup>/月以上から従量使用料制とし、従量使用料単価を一律改定

ケース 2-2 では、平成 35 年度に基本水量を 10m<sup>3</sup>/月→8m<sup>3</sup>/月に引き下げ、基本使用料は現行から据置（350 円/月（税抜））としています。

検討の結果、ケース 2-1 と同程度の基金残高とする場合、平成 35 年度、平成 40 年度は、従量使用料単価の改定を実施する必要はありませんが、平成 45 年度に 4%、平成 50 年度に 12%、平成 55 年度に 7%の改定が必要と考えられます。

以下に、使用料改定年度と改定率を示します。

**表 2.3-1 使用料改定年度と改定率（ケース 2-2）**

年度	改定率
平成 35 年度	基本水量を 10m <sup>3</sup> /月 →8m <sup>3</sup> /月に引き下げ
平成 40 年度	改定なし
平成 45 年度	4%
平成 50 年度	12%
平成 55 年度	7%

■小金井市下水道事業 財政シミュレーション

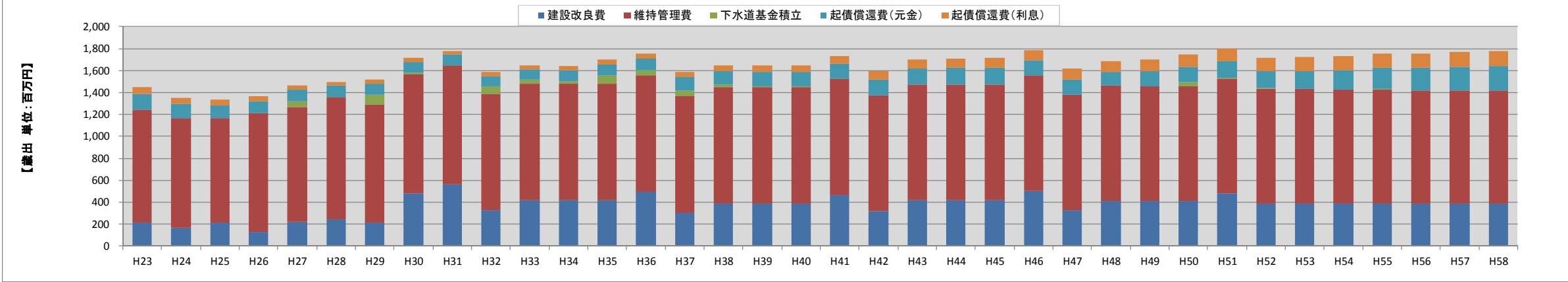
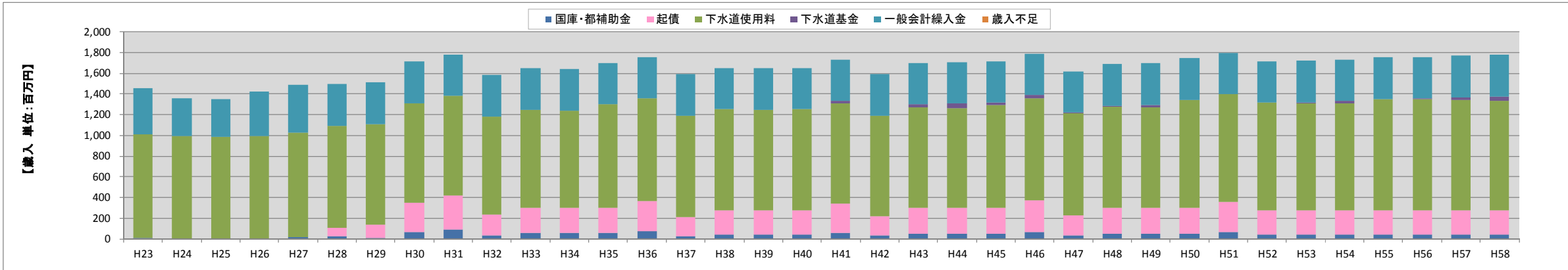
(改定ケース2-2)

【歳入】

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計	
国庫・都補助金	10	0	3	0	18	26	10	68	86	37	55	55	55	71	26	44	44	44	60	30	50	50	50	66	31	48	48	48	63	44	44	44	44	44	44	44	1,447	
起債	0	0	0	0	0	79	130	283	337	196	248	248	248	296	183	235	235	235	283	192	251	251	251	303	197	250	250	250	292	235	235	235	235	235	235	235	7,289	
下水道使用料	999	994	988	996	1,010	986	969	963	958	952	945	938	998	990	981	972	970	973	971	970	967	964	990	987	984	980	976	1,048	1,044	1,039	1,034	1,028	1,075	1,069	1,064	1,057	29,856	
下水道基金																			20	0	31	43	26	32	6	10	24	0	0	0	8	25	0	7	25	42	299	
一般会計繰入金	446	366	363	427	462	408	406	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	12,006	
建設財源	0	0	0	0	0	0	76	126	144	97	113	113	113	129	93	110	110	110	125	95	116	116	116	132	98	114	114	114	129	111	111	111	111	111	111	111	3,380	
その他	0	0	0	0	0	0	330	274	256	303	287	287	287	271	307	290	290	290	275	305	284	284	284	268	302	286	286	286	271	289	289	289	289	289	289	289	8,626	
歳入不足							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,455	1,360	1,353	1,422	1,489	1,499	1,515	1,714	1,781	1,585	1,648	1,641	1,701	1,757	1,590	1,651	1,649	1,652	1,734	1,592	1,699	1,708	1,717	1,788	1,618	1,688	1,698	1,746	1,799	1,718	1,721	1,732	1,754	1,755	1,768	1,778	50,897	

【歳出】

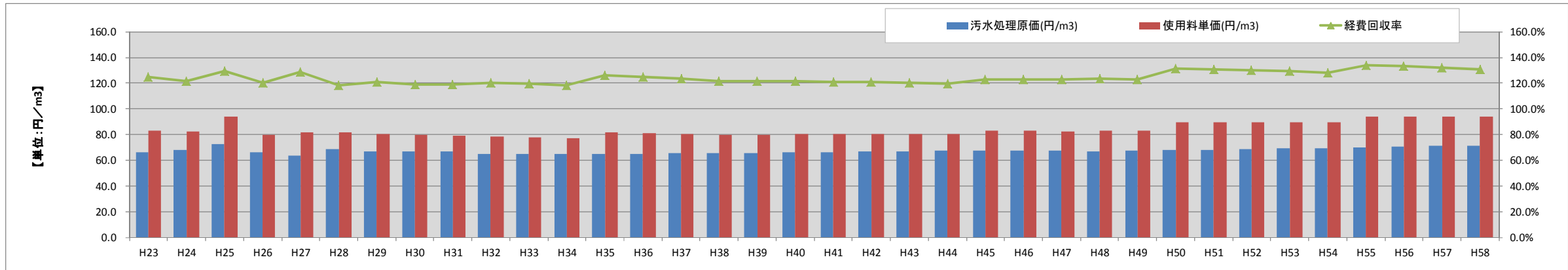
項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計
建設改良費	211	166	216	132	218	246	216	477	567	330	416	416	416	496	302	389	389	389	468	317	417	417	417	501	326	412	412	412	484	390	390	390	390	390	390	390	12,116
維持管理費	1,036	1,004	952	1,083	1,046	1,113	1,075	1,085	1,082	1,062	1,063	1,063	1,064	1,064	1,063	1,062	1,061	1,060	1,059	1,058	1,057	1,055	1,054	1,053	1,051	1,049	1,047	1,045	1,043	1,041	1,038	1,036	1,033	1,031	1,028	31,645	
下水道基金積立	0	0	0	0	56	0	91	19	3	62	37	23	77	44	57	22	10	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	3	7	0	10	0	0	0	504	
起債償還費	203	178	165	152	148	139	133	133	129	131	132	139	144	153	168	177	188	198	206	216	224	234	245	233	239	225	237	252	267	278	290	304	318	332	347	360	6,632
元金	143	124	115	107	107	102	99	100	97	96	95	99	99	106	116	121	128	132	137	141	145	151	157	141	141	125	132	142	152	158	167	178	190	201	214	225	4,185
利息	60	54	49	45	41	38	34	33	32	35	37	40	45	47	52	56	60	66	69	75	79	83	88	92	98	100	105	110	115	120	123	126	128	131	133	135	2,447
合計	1,449	1,348	1,332	1,367	1,468	1,499	1,515	1,714	1,781	1,585	1,648	1,641	1,701	1,757	1,590	1,651	1,649	1,652	1,734	1,592	1,699	1,708	1,717	1,788	1,618	1,688	1,698	1,746	1,799	1,718	1,721	1,732	1,754	1,755	1,768	1,778	50,897



■汚水処理費の推移

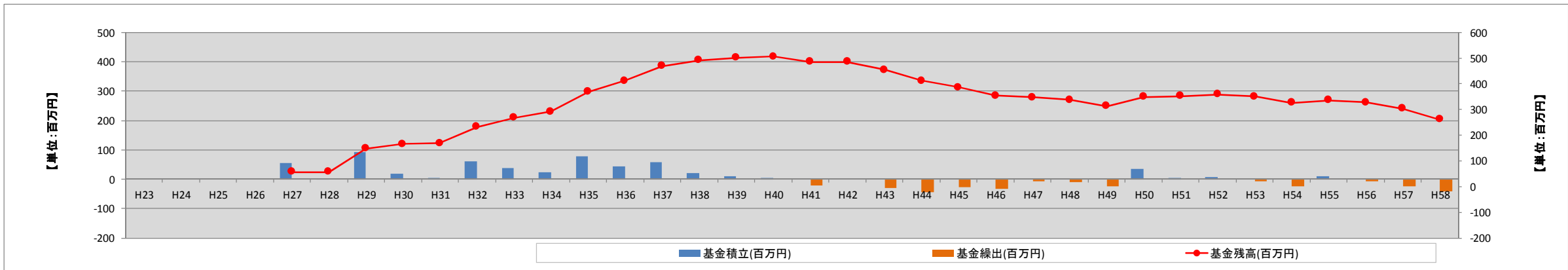
(改定ケース2-2)

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計
有収水量(千m3)	12,067	12,043	10,518	12,446	12,365	12,038	12,064	12,089	12,115	12,141	12,154	12,168	12,181	12,178	12,174	12,154	12,134	12,114	12,094	12,074	12,039	12,005	11,970	11,936	11,902	11,851	11,801	11,751	11,701	11,651	11,590	11,529	11,468	11,407	11,346	11,277	357,058
維持管理費	1,036	1,004	952	1,083	1,046	1,113	1,075	1,085	1,082	1,062	1,063	1,063	1,064	1,064	1,063	1,063	1,062	1,061	1,060	1,059	1,058	1,057	1,055	1,054	1,053	1,051	1,049	1,047	1,045	1,043	1,041	1,038	1,036	1,033	1,031	1,028	31,645
汚水分	737	764	713	782	743	791	764	771	769	755	756	756	756	756	756	756	755	754	753	753	752	751	750	749	748	747	746	744	743	741	740	738	736	734	733	731	22,493
雨水分・その他	299	241	239	301	304	322	311	314	313	307	307	307	308	308	307	307	307	307	307	306	306	306	305	305	305	304	303	303	302	302	301	300	300	299	298	297	9,152
起債償還費	203	178	165	152	148	139	133	133	129	131	132	139	144	153	168	177	188	198	206	216	224	234	245	233	239	225	237	252	267	278	290	304	318	332	347	360	6,632
汚水分	64	54	49	44	42	40	38	38	37	35	35	35	35	35	37	40	42	43	47	50	51	54	55	57	53	48	50	54	57	59	61	65	67	70	74	77	1,517
雨水分・その他	139	124	115	108	105	99	95	95	92	96	97	104	109	116	128	135	145	151	156	165	170	179	188	180	186	177	187	198	210	219	229	239	251	262	273	283	5,115
使用料収入	999	994	988	996	1,010	986	969	963	958	952	945	938	998	990	981	972	970	973	971	970	967	964	990	987	984	980	976	1,048	1,044	1,039	1,034	1,028	1,075	1,069	1,064	1,057	29,856
汚水処理原価(円/m3)	66.4	67.9	72.4	66.4	63.5	69.0	66.5	66.9	66.5	65.1	65.1	65.0	64.9	65.1	65.4	65.7	65.8	66.1	66.4	66.6	66.9	67.1	67.4	67.2	67.3	67.1	67.5	67.9	68.4	68.7	69.1	69.7	70.0	70.5	71.1	71.7	
維持管理分	61.1	63.4	67.8	62.8	60.1	65.7	63.3	63.8	63.5	62.2	62.2	62.1	62.1	62.1	62.1	62.2	62.2	62.2	62.3	62.3	62.5	62.6	62.7	62.8	62.8	63.0	63.2	63.3	63.5	63.6	63.8	64.0	64.2	64.3	64.6	64.8	
資本費分	5.3	4.5	4.7	3.5	3.4	3.3	3.1	3.1	3.1	2.9	2.9	2.9	2.9	3.0	3.3	3.5	3.5	3.9	4.1	4.2	4.5	4.6	4.8	4.4	4.5	4.1	4.2	4.6	4.9	5.1	5.3	5.6	5.8	6.1	6.5	6.8	
使用料単価(円/m3)	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	81.9	81.3	80.6	80.0	79.9	80.3	80.3	80.3	80.3	80.3	82.7	82.7	82.7	82.7	82.7	89.2	89.2	89.2	89.2	89.2	93.7	93.7	93.8	93.7	
経費回収率	124.7%	121.5%	129.6%	120.5%	128.6%	118.6%	120.8%	119.0%	118.9%	120.5%	119.5%	118.6%	126.2%	124.8%	123.2%	121.8%	121.6%	121.5%	120.9%	120.6%	120.0%	119.6%	122.7%	123.1%	122.8%	123.3%	122.6%	131.3%	130.5%	129.9%	129.1%	128.0%	133.9%	133.0%	131.8%	130.8%	



■基金残高の推移

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計
基金残高(百万円)					56	56	147	166	169	231	268	291	368	412	469	491	501	505	485	485	454	411	385	353	347	337	313	348	351	358	350	325	335	328	303	261	
基金積立(百万円)					56	0	91	19	3	62	37	23	77	44	57	22	10	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	3	7	0	0	10	0	0	0	504
基金繰出(百万円)					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	31	43	26	32	6	10	24	0	0	0	8	25	0	7	25	42	299



## 2.4. 各ケースの比較

現行使用料体系を維持した場合、及び第4回審議会で提示したケース1-1、ケース1-2の長期財政シミュレーションを比較すると以下のようになります。

表 2.4-1 各ケースの概要

ケース	改定年度、改定率
改定なし	—
ケース1-1	H42：18%
ケース1-2	H42：15%（基本水量10m <sup>3</sup> /月→8m <sup>3</sup> /月）
ケース2-1	H35：4% H40：4% H45：5% H50：5% H55：5%
ケース2-2	H35：基本水量10m <sup>3</sup> /月→8m <sup>3</sup> /月 H40：改定なし H45：4% H50：12% H55：7%

下表に示す改定率は、現行の使用料体系を0として、現行の使用料体系に対する従量使用料単価の改定率を表しています。

ケース2-2では平成35年度に基本水量を10m<sup>3</sup>/月→8m<sup>3</sup>/月に引き下げているため、9m<sup>3</sup>/月以上の使用者は下水道使用料が上がりますが、従量使用料単価の改定は行っていないため、改定率は0%と表記しています。

ケース2-1, 2-2は平成35年度以降に5年毎に使用料の見直しを行うため、段階的な改定となっており、ケース1-1, 1-2と比較して、緩やかに改定されています。

表 2.4-2 改定率の推移

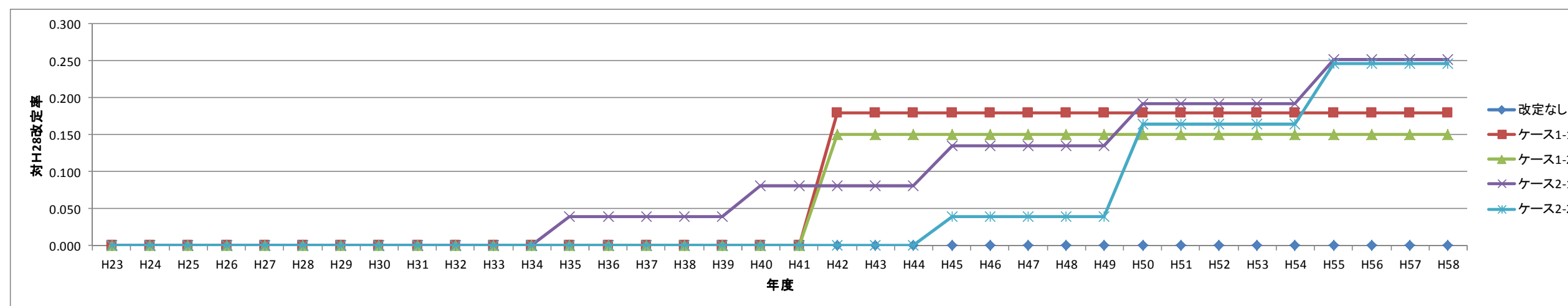
改定率の推移

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58		
改定なし																				18%																		
ケース1-1																				18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	
累計の改定率																				15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%		
ケース1-2																																						
累計の改定率																				4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%		
ケース2-1																																						
累計の改定率																																						
ケース2-2																																						
累計の改定率																																						

- ※ ケース2-2は、平成35年度に基本水量を10m<sup>3</sup>から8m<sup>3</sup>に引き下げている。
- ※ ケース1-2は、平成42年度に基本水量を10m<sup>3</sup>から8m<sup>3</sup>に引き下げている。
- ※ 改定率は、改定前年度の単価に対する改定率を示している。なお、基本水量の引き下げによる使用料の増加は示していない。

例) ケース2-1

H35(4%改定) 現行 × 1.04  
 H40(4%改定) 現行 × 1.04 × 1.04 = 現行 × 1.0816 (H39)





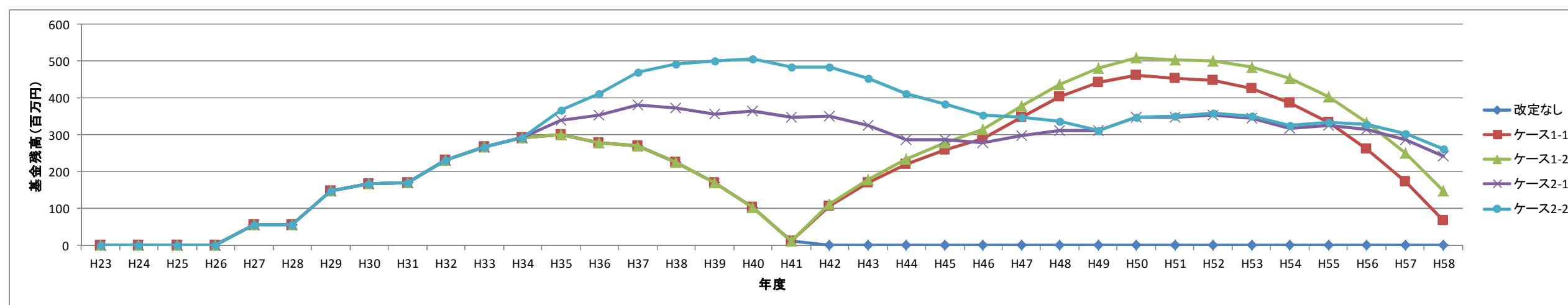
下表に示す基金残高の推移をみると、ケース 2-1 は、平成 35 年度の改定以後、概ね 3 億円前後で推移しています。

ケース 2-2 では、平成 35 年度の改定は基本水量を 10m<sup>3</sup>/月→8m<sup>3</sup>/月に切り下げたことで、基金への繰入額が多くなり、平成 40 年度は改定を行わなくとも下図のような推移となります。

ケース 2-1、2-2 とともに、平成 42 年度に改定を行うケース 1-1、1-2 と比較して基金残高の推移は平滑化されています。

表 2.4-3 基金残高の推移

基金残高		単位: 百万円																																				
項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58		
改定なし					56	56	147	166	169	231	268	291	301	278	269	225	169	103	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ケース1-1					56	56	147	166	169	231	268	291	301	278	269	225	169	103	13	107	169	220	258	290	348	402	441	463	453	447	426	388	333	262	173	67		
ケース1-2					56	56	147	166	169	231	268	291	301	278	269	225	169	103	13	112	179	235	278	315	378	437	481	508	502	501	485	452	402	335	250	149		
ケース2-1					56	56	147	166	169	231	268	291	339	353	381	374	355	364	348	352	325	287	286	279	298	313	313	347	348	353	344	318	325	315	287	242		
ケース2-2					56	56	147	166	169	231	268	291	368	412	469	491	501	505	485	485	454	411	385	353	347	337	313	348	351	358	350	325	335	328	303	261		



下表に示すケース 2-1, 2-2 は平成 35 年度に改定を実施することで、使用料単価が他のケースと比較して上がります。

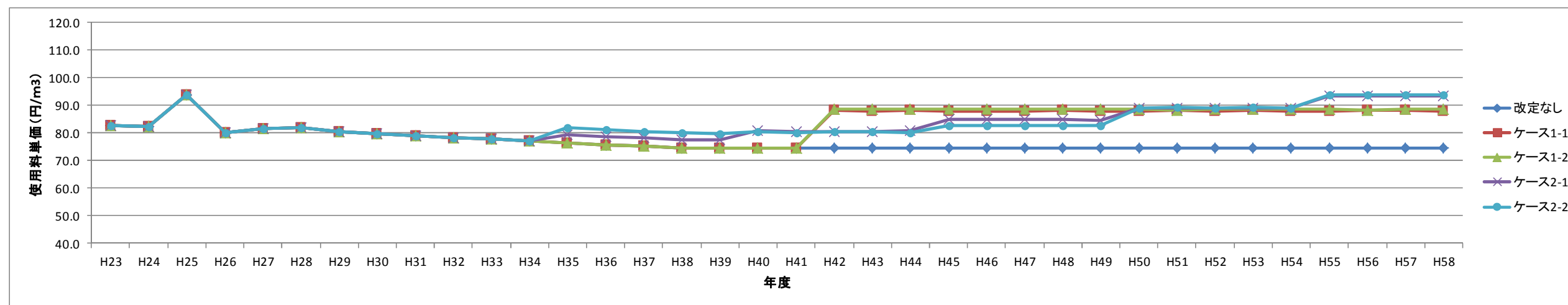
ケース 2-2 は基本水量を 10m<sup>3</sup>/月→8m<sup>3</sup>/月に引き下げることで、従量使用料単価の改定は行わないものの、新たに 9~10m<sup>3</sup>/月の使用分を従量使用料に基づき支払うことになるため、使用料単価としては上がっています。

※使用料単価：1年間の全使用料収入を、1年間の有収水量で割り戻した、1m<sup>3</sup>当たりの使用料。

表 2.4-4 使用料単価の推移

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58		
改定なし	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	76.4	75.8	75.2	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.6	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.6	74.5	74.6	74.5	74.6	74.5
ケース1-1	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	76.4	75.8	75.2	74.5	74.5	74.5	74.5	88.1	88.0	88.1	88.1	88.1	88.1	88.1	88.0	88.1	88.1	88.1	88.1	88.0	88.1	88.1	88.0	88.1	88.1	88.1
ケース1-2	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	76.4	75.8	75.2	74.5	74.5	74.5	74.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5
ケース2-1	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	79.6	78.8	78.2	77.6	77.6	80.7	80.6	80.7	80.7	80.7	84.8	84.8	84.8	84.8	84.7	89.1	89.1	89.0	89.1	89.1	93.5	93.5	93.5	93.5	93.5	
ケース2-2	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	81.9	81.3	80.6	80.0	79.9	80.3	80.3	80.3	80.3	80.3	82.7	82.7	82.7	82.7	82.7	89.2	89.2	89.2	89.2	89.2	89.2	93.7	93.7	93.8	93.7	

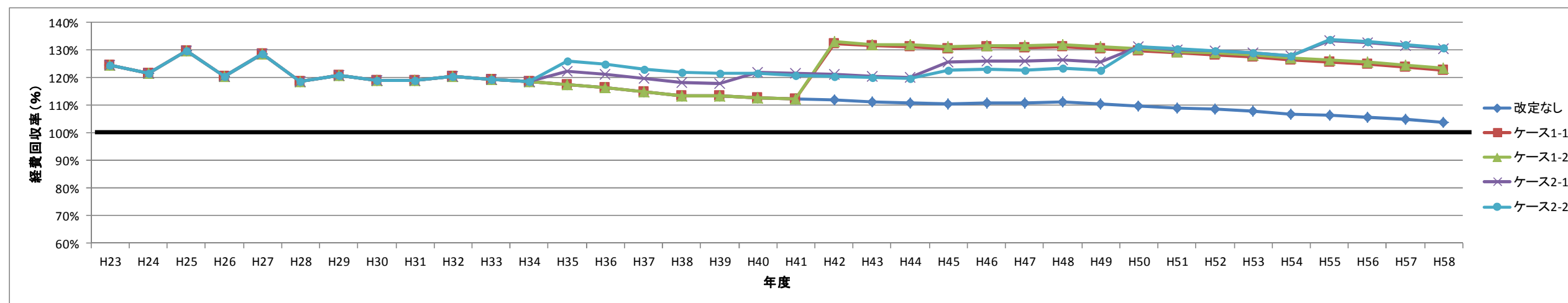
※使用料単価は、平成38年度までは近年の実績をベースに0.8%ずつ減少していくと想定



経費回収率はいずれのケースにおいても100%を下回っておらず、使用料対象経費を使用料収入で回収できる見通しとなります。

表 2.4-5 経費回収率の推移

経費回収率	単位：%																																			
項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58
改定なし	125%	121%	130%	121%	129%	119%	121%	119%	119%	121%	119%	119%	118%	116%	115%	114%	113%	113%	112%	112%	111%	111%	111%	111%	111%	111%	110%	110%	109%	109%	108%	107%	106%	106%	105%	104%
ケース1-1	125%	121%	130%	121%	129%	119%	121%	119%	119%	121%	119%	119%	118%	116%	115%	114%	113%	113%	112%	132%	132%	131%	131%	131%	131%	131%	131%	130%	129%	128%	127%	126%	126%	125%	124%	123%
ケース1-2	125%	121%	130%	121%	129%	119%	121%	119%	119%	121%	119%	119%	118%	116%	115%	114%	113%	113%	112%	133%	132%	132%	131%	132%	131%	132%	131%	130%	129%	129%	128%	127%	126%	125%	124%	124%
ケース2-1	125%	121%	130%	121%	129%	119%	121%	119%	119%	121%	119%	119%	123%	121%	120%	118%	118%	122%	121%	121%	120%	120%	126%	126%	126%	126%	126%	131%	130%	130%	129%	128%	133%	133%	131%	130%
ケース2-2	125%	121%	130%	121%	129%	119%	121%	119%	119%	121%	119%	119%	126%	125%	123%	122%	122%	121%	121%	121%	120%	120%	123%	123%	123%	123%	123%	131%	131%	130%	129%	128%	134%	133%	132%	131%



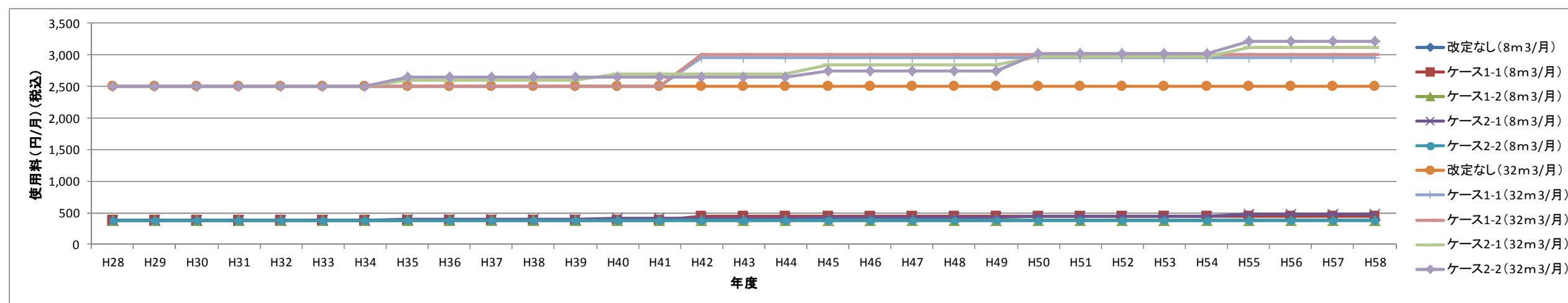
モデルケースとして、8m<sup>3</sup>/月（1人世帯程度と想定）、32m<sup>3</sup>/月（4人世帯程度と想定）使用者の下水道使用料を下表に示します。

ケース1-2, 2-2では基本使用料は据え置きとしているため、9m<sup>3</sup>/月以上の使用者の負担が大きくなり、32m<sup>3</sup>/月（4人世帯程度と想定）の負担は、ケース1-1, 2-1と比較して大きくなります。

表 2.4-6 下水道使用料の推移（8m<sup>3</sup>/月、32m<sup>3</sup>/月使用者のケース）

下水道使用料(円/月)モデルケース 単位:円/月(税込)

項目/年度		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58		
8m <sup>3</sup> /月 (1人世帯程度)	改定なし	使用料	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	
		増加額(対H28)																																
		増加率(対H28)																																
	ケース1-1	使用料	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	
		増加額(対H28)															68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	
		増加率(対H28)															18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	
	ケース1-2	使用料	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	
		増加額(対H28)																																
		増加率(対H28)																																
	ケース2-1	使用料	378	378	378	378	378	378	378	393	393	393	393	393	409	409	409	409	409	429	429	429	429	429	451	451	451	451	451	474	474	474	474	
		増加額(対H28)								15	15	15	15	15	31	31	31	31	31	51	51	51	51	51	73	73	73	73	73	96	96	96	96	
		増加率(対H28)								4%	4%	4%	4%	4%	8%	8%	8%	8%	8%	13%	13%	13%	13%	13%	19%	19%	19%	19%	19%	25%	25%	25%	25%	
ケース2-2	使用料	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378		
	増加額(対H28)																																	
	増加率(対H28)																																	
32m <sup>3</sup> /月 (4人世帯程度)	改定なし	使用料	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494		
		増加額(対H28)																																
		増加率(対H28)																																
	ケース1-1	使用料	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,949	2,949	2,949	2,949	2,949	2,949	2,949	2,949	2,949	2,949	2,949	2,949	2,949	2,949	2,949	2,949		
		増加額(対H28)															455	455	455	455	455	455	455	455	455	455	455	455	455	455	455	455	455	
		増加率(対H28)															18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	
	ケース1-2	使用料	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,995	2,995	2,995	2,995	2,995	2,995	2,995	2,995	2,995	2,995	2,995	2,995	2,995	2,995	2,995	2,995		
		増加額(対H28)															501	501	501	501	501	501	501	501	501	501	501	501	501	501	501	501		
		増加率(対H28)															20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	
	ケース2-1	使用料	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,594	2,594	2,594	2,594	2,594	2,694	2,694	2,694	2,694	2,694	2,836	2,836	2,836	2,836	2,836	2,978	2,978	2,978	2,978	2,978	3,122	3,122	3,122	3,122	
		増加額(対H28)								100	100	100	100	100	200	200	200	200	200	342	342	342	342	342	484	484	484	484	484	628	628	628	628	
		増加率(対H28)								4%	4%	4%	4%	4%	8%	8%	8%	8%	8%	14%	14%	14%	14%	14%	19%	19%	19%	19%	19%	25%	25%	25%	25%	
ケース2-2	使用料	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,494	2,646	2,646	2,646	2,646	2,646	2,646	2,646	2,646	2,646	2,646	2,736	2,736	2,736	2,736	2,736	3,021	3,021	3,021	3,021	3,021	3,216	3,216	3,216	3,216		
	増加額(対H28)								152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	242	242	242	242	242	527	527	527	527	527	722	722	722	722		
	増加率(対H28)								6%	6%	6%	6%	6%	6%	6%	6%	6%	6%	6%	10%	10%	10%	10%	10%	21%	21%	21%	21%	21%	29%	29%	29%	29%	



## 2.5. 周辺自治体の使用料体系との比較

これまでに検討したケースの使用料体系を周辺自治体と比較すると以下のとおりとなります。

表 2.5-1 周辺自治体の使用料体系（従量単価）の比較

項目／市名	小金井市	ケース1-1	ケース1-2	ケース2-1 (H35)	ケース2-2 (H35)	23区	三鷹市	武蔵野市	西東京市	調布市	国分寺市	府中市	小平市	
基本使用料(円) (基本水量)	350 (10m <sup>3</sup> /月)	413 (10m <sup>3</sup> /月)	350 (8m <sup>3</sup> /月)	413 (10m <sup>3</sup> /月)	350 (8m <sup>3</sup> /月)	560 (8m <sup>3</sup> /月)	400 (8m <sup>3</sup> /月)	470 (8m <sup>3</sup> /月)	410 (8m <sup>3</sup> /月)	350 (10m <sup>3</sup> /月)	545 (10m <sup>3</sup> /月)	266 (10m <sup>3</sup> /月)	455 (10m <sup>3</sup> /月)	
従量単価 (円/m <sup>3</sup> )	8			81		110	62	50	88					
	10				73					81	100	56	105	
	20	70	83											
	30	105	124	121	109	105	140	86	60	126	115	76	125	
	50						170	97	70	157	125			
	100	135	159	155	140	135	200	126	80	189	170	95	155	
	200	170	201	196	177	170	230	144	95	239	144	200	116	175
	500	210	248	242	218	210	270	204	110	283	172	240	141	210
	1,000	250	295	288	260	250	310	245	135	306	201	280	166	250
	2,000							283						
5,000	290	342	334	302	290	345	308	190	328	227	330	192	285	
累進度	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	3.1	5.0	3.8	3.7	2.8	3.3	3.4	2.7	

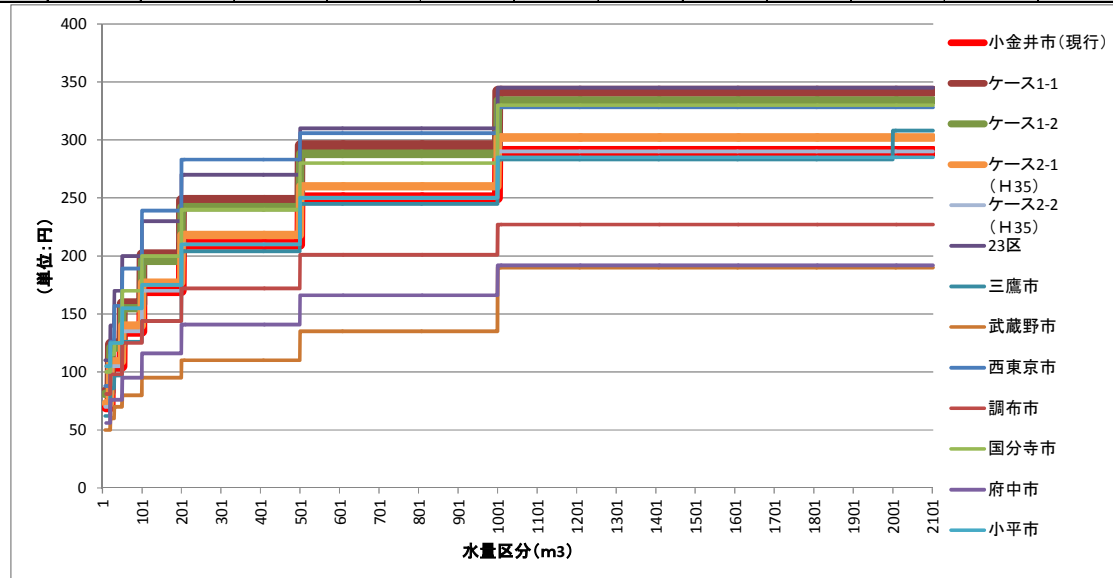
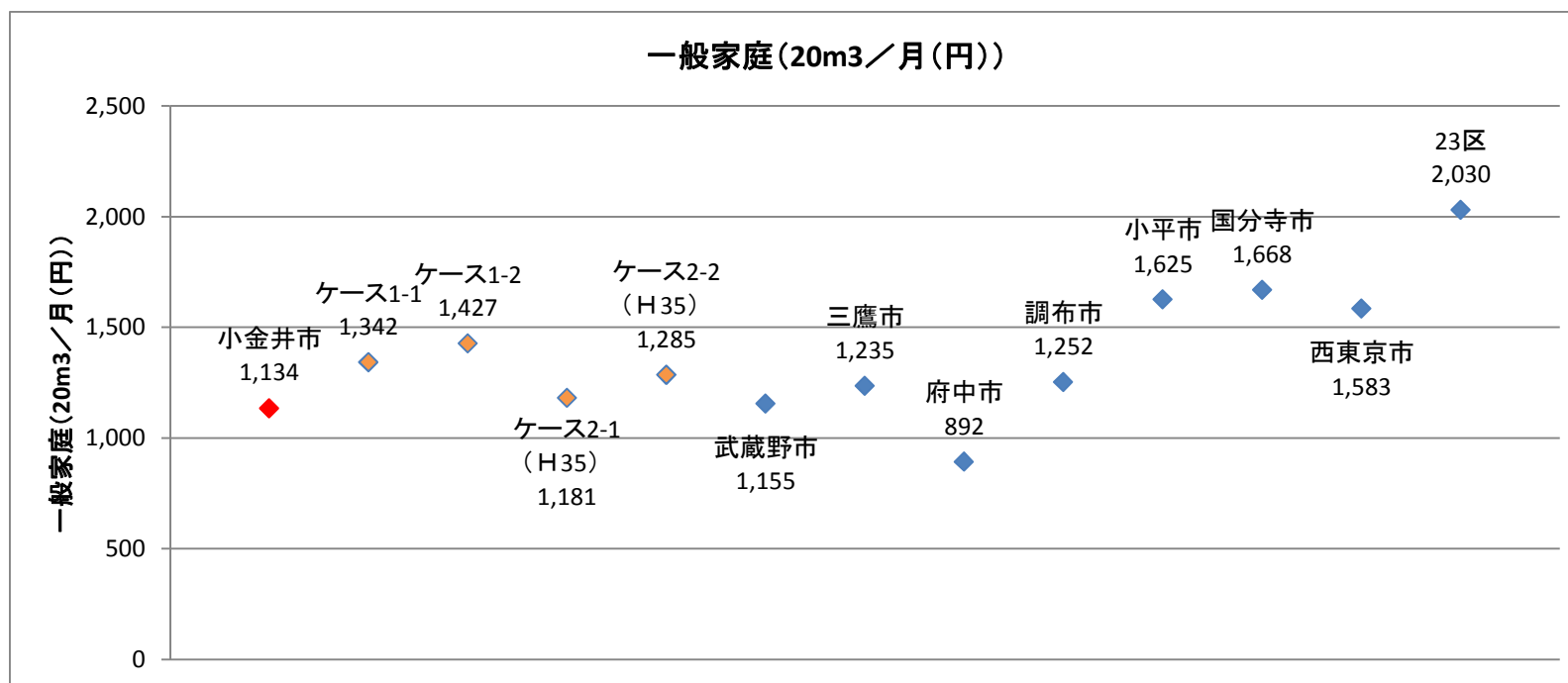


表 2.5-2 周辺自治体の一般家庭（20m<sup>3</sup>/月）の使用料

	小金井市	ケース1-1	ケース1-2	ケース2-1 (H35)	ケース2-2 (H35)	武蔵野市	三鷹市	府中市	調布市	小平市	国分寺市	西東京市	23区
一般家庭 20m <sup>3</sup> /月(円)	1,134	1,342	1,427	1,181	1,285	1,155	1,235	892	1,252	1,625	1,668	1,583	2,030
現行使用料 施行年月日	H.12. 4. 1					H.28. 4. 1	H.26. 4. 1	H.17. 7. 1	H.12. 4. 1	H.14. 4. 1	H.16. 1. 1	H.23.10. 1	H.10. 6. 1

※使用料は消費税込



### 3. 審議会スケジュール

#### 3.1. 審議会スケジュール

表 3.1-1 審議会スケジュール

	年	月日	概要
第1回	H28	11月22日(火) 13:30～	審議会立ち上げ、現状分析
第2回		12月19日(月) 15:00～	長期財政計画、算定方針
第3回	H29	2月14日(火) 15:00～	長期財政計画、算定方針
第4回		3月21日(火) 13:30～	将来方針の検討
第5回		4月24日(月) 13:30～	将来方針の検討
第6回		7月	将来方針の検討(最終方針)
第7回		9月上旬	答申等のとりまとめ